



Pioneer Spirits

開拓魂(自主・創造・協力・根性)

6月の目標

生活目標 規則正しい生活をしよう
 図書館目標 戦争に関する図書を読み、平和について考えよう
 保健目標 歯を大切にしよう

〒907-0021 石垣市名蔵243 ☎(0980)82-4113 FAX 82-4200

学校教育目標

○自ら学び 心ゆたか たくましい児童生徒

めざす児童生徒像

- 夢や希望をもち、よく考え、自ら学ぶ児童生徒
- 思いやりの心で仲良く協力する児童生徒
- 健康な心と体で、粘り強く挑戦する児童生徒

学校経営目標

- 1 一人一人を大切に、安心・安全な教育環境の充実
- 2 児童生徒一人一人の夢や希望を育み、その実現の土台となる確かな学力の定着(指導法の工夫改善・充実)
- 3 9カ年を見通した小中連携(発達段階に応じた系統的・継続的な細かな指導)の推進
- 4 開かれた学校による保護者・地域に信頼される学校づくり

●6月の行事予定 (※5月31日現在)

※コロナの状況に応じて日程が変更になる場合もあります。

1日(水)	尿検査2次、発表集会(小)、生徒会集会(中) 校内研修③
2日(木)	内科検診
3日(金)	ALT(中)、中体連激励集会
4日(土)	中体連夏季総体
5日(日)	中体連夏季総体
6日(月)	クラブ③、振替休日(中)
8日(水)	校長講話(中)、委員会集会(小)、クリーンタイム
9日(木)	表彰集会、水泳学習(小)
10日(金)	地震津波避難訓練
11日(土)	中体連夏季総体(予備日)
12日(日)	中体連夏季総体(予備日)
14日(火)	修学旅行(中2・3年)～17日、水泳学習(小)、ALT(中)
15日(水)	校長講話(小)
16日(木)	水泳学習(小)
20日(月)	平和集会(小)、ふれあい給食、水泳学習(小)
21日(火)	水泳学習(中)
22日(水)	スピーチ集会(中)、平和FW午後(仮)
23日(木)	慰霊の日、市平和祈念式典参加(児童生徒会)
24日(金)	授業参観、SC(スクールカウンセラー)来校、水泳学習(中)
28日(火)	水泳学習(中)、ALT(小)
29日(水)	発表集会(小)、期末テスト(中)
30日(木)	期末テスト(中)

●7月の行事予定 (※5月31日現在)

※コロナの状況に応じて日程が変更になる場合もあります。

1日(金)	期末テスト(中)
4日(月)	七夕集会(小)、クラブ④
6日(水)	地域講話、校内研修④
8日(金)	SC来校
12日(火)	福祉体験(中1・2年)
13日(水)	個人面談①、委員会活動、スピーチ集会(中)
14日(木)	個人面談②、クリーンタイム
15日(金)	個人面談③、クリーンタイム
18日(月)	海の日
11日(土)	交流給食
20日(水)	一学期終業式
21日(木)	県総体開会式
22日(金)	県総体～26日

※6月の授業参観について

当初17日(金)に予定をしていましたが、中学校の修学旅行の日程が14～17日に確定したため、24日の変更になりました。ご理解・ご協力よろしくお願いたします。

●5月の様子

5/9 PTA評議員会の開催

新型コロナウイルス感染症対策予防のため、タブレットを活用してテレビ会議で開催しました。これを機会に親子で端末の活用を確認できたと思います。



5/10 租税教室の開催

5・6年生を対象に租税教室を開催しました。講師は、税務署の宮里さんが行い、税金の種類や各国の消費税の違いなどを分かりやすく説明してくれました。



5/11 本土復帰コーナー

今年の5月15日は、沖縄県が本土復帰50周年という年になります。沖縄県教育委員会の教育長からもメッセージがありました。復帰して50年間でどのように変わったのかな？



5/12 校内研修

昨年度から一人一台の端末(タブレット)が貸与され、ICT機器を活用した授業が展開されています。子ども達と一緒に先生方も講師を招き、研修を通して授業改善に努めます。



5/26 生徒総会

生徒総会では、生徒自身が学校を創り上げていくという意気込みが感じられました。議案に対し、質問し議案全てを承認することができました。「少数精鋭」で佳良な学校へ！



5/27 アンパル探検

延期になっていたアンパル探検を実施しました。小学生は、実施にテンションマックス！途中から天気も悪くなりましたが、臨機応変に実施することができました。





Pioneer Spirits

開拓魂(自主・創造・協力・根性)

6月の目標

生活目標 規則正しい生活をしよう
 図書館目標 戦争に関する図書を読み、平和について考えよう
 保健目標 歯を大切にしよう

〒907-0021 石垣市名蔵243 ☎(0980)82-4113 FAX 82-4200

学校教育目標

○自ら学び 心ゆたか たくましい児童生徒

めざす児童生徒像

- 夢や希望をもち、よく考え、自ら学ぶ児童生徒
- 思いやりの心で仲良く協力する児童生徒
- 健康な心と体で、粘り強く挑戦する児童生徒

学校経営目標

- 1 一人一人を大切に、安心・安全な教育環境の充実
- 2 児童生徒一人一人の夢や希望を育み、その実現の土台となる確かな学力の定着(指導法の工夫改善・充実)
- 3 9カ年を見通した小中連携(発達段階に応じた系統的・継続的な細かな指導)の推進
- 4 開かれた学校による保護者・地域に信頼される学校づくり

●学力向上について

※令和4年度石垣市学力向上推進委員会総会(5/20)より

先日の20日に令和4年度の石垣市学力向上推進委員会の総会が石垣市民会館の中ホールで開催され、学校からは、石垣市の小中の学校長と学力向上推進担当が参加しました。この総会は、毎年開催されており、その会則の「第2条(目的)」に「学力向上推進委員会は、本市の教育目標及び主要施策に基づき、幼児児童生徒の全面発達を目指し、基礎学力の向上と、望ましい生活習慣の形成を図ることを目的とする。」とあり、この名称での総会は、平成6年6月30日から施行され、今年で28年目を迎えます。

総会では、2つの報告と6つの議事が審議されました。その中の石垣市学力向上推進計画では、推進目標に「幼児児童生徒一人一人に『生きる力』の基盤となる『新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力』を育む」、目指す児童生徒像に「自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら自己実現を図っていく幼児児童生徒」、推進の視点(一部抜粋)では、「本市において、これまでの学力向上の取組を通して、学校や家庭・地域、関係機関が本市の幼児児童生徒の課題を共有し、一体となって取り組んだ結果、近年、全国学力・学習状況調査において、小中学校で一定の成果が見える形で表れてきている。一方で、残された課題や今後取り組むべき方向も見えてきた。これまでの本市における学力向上推進の歩みを通して培ってきた、学校や家庭・地域、関係機関との連携体制をさらに進めながら、効果的な取組を展開する。具体的には、学習指導要領や県施策と一体的な取組とするとともに、市及び学校の主体性や独自性を生かした展開とするため、各関係機関が「子供の成長の姿」を互いに共有していくことが、何にも増して大切だと考え、学校・家庭・地域一体となって展開していく。」とあります。また、市学力向上推進委員会の役割は、専門部会(学校教育部会、PTA・家庭・地域連携部会)を設置し、学力向上についての研究と事業の推進、各小・中学校の役割は、

- ①自立・自律した学習者の育成(主体的な学び)
- ②多様な人との協働体験(協力・貢献)
- ③夢実現・なりたい自分へのアプローチ

家庭・地域・公民館の役割は、

- ①SDGsを意識した学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実
- ②「家(や)～なれ～運動」の推進
- ③地域の特色を活かした学びの創出

があり、各会・関係機関がそれぞれの特性を生かし、上記の組織体制づくりや事業を積極的に推進する。」とあります。

なぐら幼稚園、名蔵小中学校の子ども達が夢実現できるような学校・家庭・地域が共に、これからの未来を創る子ども達のために進めていきたいと思ひます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

●働き方改革について

※沖縄県教職員働き方改革推進プラン(令和4年3月改訂版)より

沖縄県教育委員会では、教職員の長時間勤務の縮減とワーク・ライフ・バランスを実現し、心身共に健康で充実した教職人生を送ることができる職場環境を整えるため、平成31年3月に「沖縄県教職員働き方改革推進プラン」を策定し、様々な業務改善の取組を進めています。近年の急速な社会情勢の変化に伴い、教職員に求められる役割が増加する中で、教職員が日々の生活の質を向上させるとともに教職人生を豊かにし、本来の職務を遂行していくために、学校の働き方改革を推進していきます。

目的：①教職員一人ひとりが、充実した教職生活を送るためにワーク・ライフ・バランスを重視し、働きやすい勤務環境を整える。

②教職員が本来の業務に集中できる時間、児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、質の高い教育を持続的に行うことのできる教育環境を整える。

目標：令和5(2023)年度までに月80時間を超える時間外勤務を行う教職員がゼロとなるよう取り組む。

プランの体系として、令和5年度までの目標を達成するために以下の4点を取組方針として、教職員の業務改善に取り組んでいきます。

- 1 学校運営体制の改善
 - 勤務管理システムの導入 ○学校閉庁日の設定
 - 定時退勤日の設定 ○業務改善のフォローアップ
- 2 学校業務の改善
 - 本庁提出物等の縮減
 - 学校行事の精選や内容の見直し
 - 会議の効率化 ○家庭訪問等の効果的在り方
- 3 教育委員会による支援
 - 教職員の健康管理 ○負担軽減の非常勤職員の配置
 - スクールサポートスタッフの配置の支援
 - 教職員の人材育成
- 4 部活動の在り方の見直し
 - 部活動の休養日の設定 ○部活動の活動時間の設定
 - 部活動指導員等の活用 ○部活動等の調査
 - 休日の部活動の段階的な地域移行

とあり、各市町村や各学校においても状況は変わると思いますが国や教育委員会がすべき事、学校現場にできる事などがそれぞれあります。教職員が元気で子ども達と関わるためにも、学校現場での「働き方改革」をこれから考えていかなければなりません。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。